

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスはびねすⅡ		
○保護者評価実施期間	2026年2月25日		～ 2026年3月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2026年2月25日		～ 2026年3月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースの広さや、キッチンの設備の充実により、雨天時でも、運動や、クッキング等、楽しめる活動提供が可能であり、長期休暇には、沢山の行事に取り組んでいる点。	広いスペースを有効に利用し、運動活動のバリエーションを豊かにする事。外出する際の内容や目的の明確化。クッキングを通じた食育。	キッチンスペースや、行事での外出では、日常に生かせる事や、地域の方との交流も含め、社会性を養っていきける様にしていく事。
2	送迎車両にハイブリッド車を採用している事で、安心、安全な送迎が可能であり、災害時の対応にも優れている事。	定期的な訓練では、車の強みを生かした実践も含め、指導している。	強みであるハイブリッド車以外であったり、あらゆる事態を想定した日々の危機管理について学びを深めていく。
3	物理的にも、視覚的にも構造化されており、個々のスケジュールによって、利用者が見通しをもって活動できる点。	マンネリ化しない様に、毎日活動内容を工夫しながら、個別活動にも、集団活動にも対応出来る構造を生かしている。	個々や、年齢に合った療育が出来る様に、柔軟性を持ったやり方も日々取り入れていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職(保育士を除く士業)による療育・支援	理学療法士や心理士等、絶対的に必要不可欠とまではいえないが、利用者によって必要となった際には、人材の確保や雇用事情が難しい。	現在のスタッフで、研修の受講やスキルアップの為に講義等、積極的に参加する様にしていく。
2	地域交流に参加できていない	土曜日や、長期休暇の際には、社会的資源を利用した活動があり、交流出来ている場面もあるが、学校後の平日は時間的な面、又、学校の人に事業所を利用している事をあまり知られたくないといった理由もあり、地域交流は消極的になっている。	地域と限らず、同年代の他者との交流の機会は作っていきたい。
3	外部研修が少なめである事	中々、外部での講習に参加するのは難しい面もある。	ズームや、YouTube視聴等も生かして、内部研修の機会を充実させていける様にしていく。